

VOCU Baby Volume Pedal オーナーズマニュアル

このたびは VOCU Baby Volume Pedal をお買い上げいただき誠にありがとうございます。本機は、世界最小のペダルボリュームを目指したアクティブボリュームペダルです。ミュート～1%～100%～最大約+12dBブーストまでのボリュームを、光センサーによる小さなボリュームペダルで無段階にコントロールすることが可能です。ハイインピーダンス入力 / ローインピーダンス出力設計のため、インピーダンスマッチングを気にせずあらゆる機器に対応でき、インピーダンスマッチングの悪いエフェクター間に設置すればバッファアンプの役割も果たします。

⑨ 本機は最小化のためにバッテリーを内蔵しておりません。本機を使用するには別途 AC アダプタ等 (DC9V Center - ; 30mA 以上) の外部電源を用意して頂く必要があります。

各部の名称と役割

- ① LED： 現在のボリューム状態を3色のLED点灯で表示します。
消灯＝電源がオフになっています。
⑩ 青色＝ミュート機能が有効になっており出力は無音化されています。
⑪ 紫色＝通常のボリューム範囲 (1%～100%)。
⑫ 赤色＝ブースト領域に突入して入力された音量以上のボリュームで出力されています。
- ② Pedal Switch： Pedal をかかと側に強く押し込むと、Pedal 裏面に設置されたスイッチを押すことができます。このスイッチによりミュート (完全無音化) 機能をコントロールできます。
- ③ Input： ギターなどの楽器や、他のエフェクターからの出力をモノラルシールドケーブルで接続します。
- ④ M ⇄ T： Pedal のかかと側に設置された Pedal Switch のミュート動作を、M (モーメンタリー＝押している間だけミュート、出荷時設定) もしくは T (トグル＝押す度にミュート有効と解除を切替) から選択します。スイッチは底面に設置されています。
- ⑤ Min： Pedal をかかと側に戻しきったときのボリュームレベルを調整します。
- ⑥ Max： Pedal をつま先側に送りきったときのボリュームレベルを調整します。
- ⑦ DC9V： 一般的な DC9V センターマイナス電源 (30mA 以上) を接続します。DC12V まで許容できます。本機はバッテリーを内蔵することができませんので、必ず外部電源をご用意ください。本機には2つの DC ジャックが装備されていますが、両者は並列配線されていますので、外部電源をどちらのジャックに接続しても構いません。未使用のジャックは外部電源からの分配電力を出力できるため、他の機器の DC ジャックに接続することで、その機器への電源供給を行うこともできます。このジャックにプラグが接続されると本機の電源がオンになります。
- ⑧ Output： 他のエフェクターの入力やアンプの入力にモノラルシールドケーブルで接続します。
- ⑨ Pedal： 光センサーを利用した可変ボリュームコントローラーです。つま先側に送るとボリュームが大きくなり、かかと側に戻すとボリュームが小さくなります。



使用方法例

1. 一般的なフルボリューム

最も標準的な、かかと側でボリューム1%、つま先側でボリューム100%のフルボリュームレンジをペダルでコントロールできます。次ページの「Min レベルと Max レベルの設定手順」の Step3 までを行って本機のセッティングを行ってください。

本機の構造上、かかと側にペダルを戻しきっても完全な無音にはなりませんので、完全な無音が必要な場合には、Pedal をかかと側に強く押し込んでミュート機能を有効にしてください。ミュート機能は出荷時にモーメンタリー (【M】押している間だけ Mute 有効、離すと Mute 解除) に設定していますが、本機底面の M ⇄ T スwitch によってトグル (【T】押す度に Mute 有効と解除を切替) を選択することもできます。

2. 可変範囲を限定するミニマムボリューム (出荷時セッティング)

クリーンサウンドでややボリュームを抑えたサウンドが必要な場合などには、かかと側70%、つま先側100%のようにペダルでのボリューム可変範囲を限定することができます (出荷時には Min 約40% / Max 100% にセッティング)。Min コントロールを時計方向に回していくと、かかと側でのミニマムボリュームが大きくなります。ミニマムボリュームを変更するには「Min レベルと Max レベルの設定手順」の Step4 までを行ってください。

3. レベルブースト (上級者向けセッティング)

裏パネルを外し基板上の半固定抵抗 (つま先側左上) を時計方位最大にセットしてください (出荷時は最小にセットされています)。Min コントロールと Max コントロールを時計方向フル (最大) にセットし、ペダルを踵側に戻した時に LED が赤く点灯するなら紫の点灯になるまで Max コントロールを戻してください。これでかかと側のボリュームが約100%に設定されます。Pedal をつま先側に移動させるに従いレベルがどんどんブーストされていきますので、好みのポジションでペダルを止めてご使用ください。

4. プッシュレベルブースト (実験的なセッティング)

付属のゴム足 (プッシュブーストラバー) を Pedal つま先側下に貼付けます (貼り付け位置は Pedal かかと側下に貼り付けられたゴム足と同じ位置)。Max ボリューム設定時は Pedal をつま先側に送った後に足を離れた状態 (すなわちゴム足が潰れていない状態) で行います。この設定で、つま先側に Pedal を強く押しこむと、ゴム足が潰れて Pedal はさらにつま先側に押し込まれるため、Max ボリュームよりもさらにボリュームを上げることができます。貼り付けるゴム足は、ブーストしたいレベル量に応じた高さのゴム足を選択してください。この設定では従来のボリュームペダルでは実現の難しい、かかと側で1% (あるいは70%など)、標準つま先側で100%、つま先側に強く押し込むと110%というような、Mute を入れて4つのボリュームをコントロールすることができるようになります。

Min レベルと Max レベルの設定手順

- Step 1. Min と Max コントロールを反時計方向に回しきって、Min と Max ボリュームを最小にセットします。
- Step 2. ペダルをかかと側に戻しきって、LED ランプが紫色に点灯していることを確認します。もしも青色に点灯していた場合には、Pedal をかかと側に強く押し込んでミュート機能を解除します。
- Step 3. Pedal をつま先側に送りきり、楽器を演奏しながら Max コントロールを時計方向に徐々に回していきます。LED ランプは Input で検知した入力レベルよりも出力レベルが大きくなると赤色に点灯します。つま先側で LED が赤色に点灯しなくなるまで戻した Max コントロールのポジションが入力レベルと出力レベルが等しい状態（100% レベル）になります。
- Step 4. Pedal かかと側のボリュームを最小ではなく、50% や 70% 程度にセットしたい場合には、Pedal を動かしながら Min コントロールを適度に時計方向に回して、Max ボリュームとの音量差をセットしてください。Min と Max コントローラーには相関関係がありますので、Min コントロールの設定を変更すると、Max レベルが若干変動するため、Min レベルが決定したら、ステップ 3 を念のために行ってください。

ペダルの堅さ調整

ペダルの前後動作が軽すぎたり、重すぎたりする場合には、ペダル中心を横断するシャフトのナットを 5.5mm のレンチで締めたり緩めたりしてください。

Min/Max コントロールノブの取り外し

ボード内でアクシデントにより Min/Max ボリュームの設定が変わってしまわないように、Min/Max のコントロールノブ（水色の円柱）を外して行うことができます。コントロールノブを外すと工具なしでは簡単に設定値を変更することができなくなるため、不慮のトラブルを避けることができます。コントロールノブを外した場合には、精密ドライバーでボリューム設定を行うことができます。また、外したコントロールノブは再び装着することができますので、無くさないように保管してください。

Mute スイッチの踏力調整

Pedal Switch のミュート機能 On/Off が、意図せずに行われてしまう場合や、On/Off のために不自然なほどの踏力を必要とする場合には、Pedal かかと側下のスイッチアジャストナットを 5.5mm のレンチを使って調整してください。スイッチ踏力を軽くするにはナットを反時計方向に、重くするにはナットを時計方向に回します。

つま先最大時のレベル変動回避

出荷時には Pedal つま先側の裏面に衝撃吸収のためのラバーシートを貼り付けています。このラバーシートが若干収縮するため、Pedal を踏み込んで荷重がかかっている状態と、足を離して荷重が抜けた状態では若干のレベル差が生じます。このレベル差を嫌う場合には、Pedal つま先側の裏面に貼られたラバーを剥がしてご使用ください。

内部半固定抵抗（上級者向け情報）

使用例 4 「プッシュレベルブースト」のセッティングでレベルブーストのブースト量が不足している場合には、底板を外すとアクセスできる基板上の半固定抵抗（つま先側左上）を調整することによって、最大ブーストレベルを引き上げることができます。最大ブーストレベルを引き上げるとギターアンプ等の再生機器にダメージを与える恐れがありますので、十分にテストして、機器にダメージを与えない範囲で設定してください。基板上の半固定抵抗は、工場出荷時にはほぼ最小のポジションにセットされています。時計方向に回すに従い最大ブーストレベルが大きくなっていきます。なお、ブーストレベルは Min ボリュームの最小値と関連しているため、ブーストレベルを引き上げると、かかと側での最小音量が 1% まで下がらなくなります。また、使用例 3 「レベルブースト」では、この半固定抵抗を最大にセットしないとペダルかかと側でのレベルが 100% まで上がりません。

警告！ 最大ブーストレベルを引き上げたことによって起こったいかなる損害に対して、弊社では一切の責任を負いかねます。

スロープブロックの無料提供

本機は構造上の制限により、最も踏み込んだ状態のペダルポジションが水平よりもつま先下がりになります。このポジションが操作性の好みに合わない場合には、ペダルのポジションを水平にするためのスロープブロック（本機の下に置く角度の付いたラバーブロック）をご希望の方に無料提供しています。

ご希望の方は、同梱の弊社保証書に必要事項を記入し、写真を撮って弊社へ送信してください。保証書に記載された住所へ宅配メール便にて無料発送（着荷まで 3 日～7 日）いたします。

Email: support@vocu.jp FAX: 03-6862-9275

なお、このスロープブロックは、本機専用には製造したものではありません。市販のスロープブロックを本機のサイズに合わせてカットしただけのアクセサリです。固定するための両面テープやマジックテープはご自身で用意してください。

付属品

つま先側予備ラバーシート×1、プッシュブーストラバー低×2、プッシュブーストラバー高×2、底板用ゴム足×4、DC コード（40cm / 片側 L、品番 DC04LS）×1、保証書

仕様

サイズ：	縦 95mm × 横 45mm × 高 52mm
重量：	185g
消費電流：	30mA 未満
電源：	DC9V Center ⊖ ; 30mA 以上の外部電源
ブーストレベル：	Min 最小 / Max 最大時：約 +6dB Min 最大 / Max 最大時：約 +12dB
入力インピーダンス：	1M Ω
出力インピーダンス：	100 Ω